

2 0 2 5 年度

事業報告書

公益財団法人 NHK交響楽団

—— 目次 ——

はじめに	3
1. 世界最高水準を目指す演奏とN響ならではの公演	4
(1) 定期公演の充実	4
(2) 多様な公演の展開	6
＜特別公演＞	7
＜地方公演＞	8
＜契約公演＞	9
＜海外公演＞	9
2. 若い世代を中心にファンを拡大し音楽芸術文化を継承	10
(1) 若年層への浸透	10
(2) デジタルを活用した広範なファンの獲得	10
(3) 子どもたちに文化を継承	11
3. 社会、放送に貢献しNHKグループのブランド力を向上	11
(1) NHK財団と連携した社会貢献	11
(2) 次世代の未来を育む活動	12
(3) 福祉、地域を応援する活動	12
(4) NHKの放送・事業への貢献	13
(5) N響アカデミー	14
(6) 寄付への理解促進　ーリハーサル公開ー	14
4. 世界に展開する楽団として日本のソフトパワーに貢献	14
(1) 海外公演の実施	14
(2) 国外のファンを獲得	14
(3) 訪日旅行者、留学生に向けた取り組み	14
(4) 国際発信の強化	15
5. 放送 100 年への貢献、N響創立 100 年を歴史に刻む事業	16
(1) 放送 100 年への貢献	16
(2) N響 100 年に向けた取り組み	16
6. 経営の安定化とマネジメントの強化	17
(1) 増収の努力	17
(2) 経費の節減	17
(3) マネジメントの強化	17
7. 顕彰の実施	18
8. 法人の概況	19
9. 処務の概況	20
10. 理事および監事に支払った報酬の額	22
(参考資料)	23

はじめに

1926年に誕生したNHK交響楽団にとって、2025年度は、創立100年の記念事業をスタートさせた年でした。また、その伝統に培われた演奏の力を5年ぶりのヨーロッパツアーなどによって内外に広くアピールし、公演活動に大きな弾みをつけた年でもありました。

2025年5月のツアーでは、首席指揮者のファビオ・ルイージとともに5か国6都市を回りました。中でも注目を集めたのは、アムステルダムでの世界的音楽祭「マーラー・フェスティバル」からの招へいでした。海外のトップオーケストラに交じって、大作曲家マーラーの二つの交響曲を受け持つという荣誉ある舞台に立ち、地元のメディアからも“驚きのステージ”と高い評価を受けました。N響はもとより、NHKグループの国際的プレゼンスの向上に貢献したと考えています。

国内の演奏活動では、ルイージをはじめ、ヘルベルト・ブロムシュテット、シャルル・デュトワ、トゥガン・ソヒエフらN響の看板とも言える巨匠たちと心に沁みる名曲の数々を演奏し、人々に深い感動を与えました。一方、フィンランドの気鋭の若手タルモ・ペルトコスキの個性溢れる指揮がファン投票の1位になったことは、N響のレパートリーの豊富さと優れた対応力、それにプログラミングの妙を示しました。

2025年末から2026年初めにかけて本格的に動き出した創立100年事業では、暮れの「紅白歌合戦」への初出演、ゲーム音楽のドラゴンクエスト・コンサートや大河ドラマコンサートなどが好評を博しました。クラシックになじみの浅い人たちに向けて“身近なN響”をアピールし続けました。

こうした取り組みによって、定期公演の総入場者は前年を大きく上回る124,000人、定期会員数は平均で9000席を超え、近年のピークだった2000年代初頭の水準に戻ったことは特筆に値します。

厳しい財政状況が続く中で、収益性を高めつつ、音楽芸術の継承、社会や地域への貢献、そして日本のソフトパワーとしての役割などを担うことは、この100年、変わることのなかったN響の使命です。私たちはその担い手として努力を続けてまいります。

1. 世界最高水準を目指す演奏とN響ならではの公演

(1) 定期公演の充実

① 世界の第一線で活躍する指揮者、ソリストとの共演

首席指揮者ファビオ・ルイージ、現役最高齢の桂冠名誉指揮者ヘルベルト・ブロムシュテット、名誉音楽監督シャルル・デュトワ、名誉指揮者パーヴォ・ヤルヴィ、次世代をリードするトゥガン・ソヒエフといった錚々たる顔ぶれを招聘。さらには注目の若手タルモ・ペルトコスキやライアン・バンクロフト、国際的な評価が高いヤクブ・フルシャなどアジアのトップオーケストラにふさわしい陣容で、最高水準の演奏をお届けした。

② 3プログラムの特色づけ、創立100年に向けた展開

本格的なオーケストラのレパートリーをお届けするAプログラム、サントリーホールの繊細で豊かな響きが楽しめるBプログラム、話題のソリストや有名曲を中心としたレパートリーが魅力のCプログラムなど、3プログラムそれぞれの内容を特色づけて、さらなる魅力を打ち出した。また2026年の創立100年に向けて記念のロゴマークを使ってプロモーションを展開するなど、祝祭の機運を盛り上げた。

③ お客様へのサービス

若者向けの割引サービス「ユースチケット」は、2024年7月から対象年齢を29歳以下に拡大後、ユース登録者数および購入者数が順調に増加している。特に2025年度は、アニメ「青のオーケストラ」とコラボしたコンサートや「ドラゴンクエスト」コンサートなど若年層にも訴求力のある公演が続き利用者が大きく拡大した。またコロナ禍での休止を経て、2025年4月から本格的に営業再開したNHKホールのカフェコーナーもN響公演における来場者サービスの一環として定着し、毎公演時に賑わいを見せているほか、年度途中からは懸案だった傘立ての設置も実現した。

④ WEBアンケート

公演プログラムに掲載したQRを活用したお客様アンケートを引き続き各公演で実施。定期公演のみならず特別公演も対象とし、得られたデータを活用することで来場者満足度の向上と広報戦略の最適化につなげた。

【演奏計画】

○ 2024—25定期公演（4月～6月）

Aプログラム：NHKホールで3プログラム6公演

Bプログラム：サントリーホールで3プログラム6公演

Cプログラム：NHKホールで2プログラム4公演※

※Cプログラムはヨーロッパ公演のため一部休止

合計8プログラム、16公演

○ 2025-26定期公演（9月～翌年2月）

Aプログラム：NHKホールで6プログラム12公演

Bプログラム：サントリーホールで6プログラム12公演

Cプログラム：NHKホールで6プログラム12公演

合計18プログラム、36公演

<4月>

名誉指揮者パーヴォ・ヤルヴィが2年ぶりに登場。Aはヴィオラの世界的名手アントワーン・タメスティを迎えたベルリオーズ《イタリアのハロルド》他。Bはパーヴォ得意のストラヴィンスキー《ペトルーシカ》を中心としたプログラム。

<5月>

ヨーロッパ公演に先立ち、アムステルダムでのマーラー・フェスティバルで演奏するマーラー《交響曲第3番》《交響曲第4番》を首席指揮者ファビオ・ルイージの指揮で披露した。Cには期待の若手指揮者ギエドレ・シュレキーテが初登場、人気ピアニスト・藤田真央と共演し、多くの聴衆を集めた。

<6月>

スペインの名匠フアンホ・メナが得意のブルックナー《交響曲第6番》と、ウラディーミル・フェドセーエフの代役として、チャイコフスキー《悲愴》を指揮。2000年生まれの新星タルモ・ペルトコスキはマーラー《巨人》を振って、「最も心に残ったN響コンサート2024-25」のベストワンに選出された。

<9月>

ファビオ・ルイージの首席指揮者4シーズン目。幕開けのAはライフワークの一つでもあるフランツ・シュミットの交響曲。Cは初登場ライアン・バンクロフトの指揮で、N響と26年ぶりの共演となる名バリトンのトマス・ハンプソンがマーラーの歌曲を披露した。

<10月>

98歳となる桂冠名誉指揮者ヘルベルト・ブロムシュテットが3プログラムを指揮。スウェーデン放送合唱団を迎えたメンデルスゾーン《交響曲第2番「讃歌」》や、巨匠得意のシベリウス、ブラームスの交響曲を含んだ本格的なラインナップで、6公演がすべて完売となった。

<11月>

名誉音楽監督のシャルル・デュトワが8年ぶりに定期公演を指揮。Aではメシアンやホルストといった合唱付きの大曲、Cでは生誕150年のラヴェルを演奏し、聴衆の熱い期待に応えた。Bでは気鋭のラファエル・パヤーレが十八番の《英雄の生涯》を指揮した。

<12月>

首席指揮者ルイージによる3プログラム。Aは名手レオニダス・カヴァコスが弾く没後150年のショスタコーヴィチ《ヴァイオリン協奏曲第1番》。Bは藤倉大に委嘱した新作《管弦楽のためのオーシャン・ブレイカー》の世界初演、Cには第19回シヨパン国際ピアノコンクールで優勝したばかりのエリック・ルーが出演した。

2026年

<1月>

緊密な関係を築いている世界的指揮者トゥガン・ソヒエフが3プログラムを指揮。Aは大曲マーラー《交響曲第6番》。B・Cでは、松田華音、上野通明といった若手日本人ソリストとの共演を含め、ロシア、フランスの多彩な曲目を披露した。

<2月>

Aにはウィーン国立歌劇場の音楽監督フィリップ・ジョルダンがN響初登場、得意のワーグナーを指揮した。Bのヤクブ・フルシャ、Cのゲルゲイ・マダラシュは、ともに優れた技術を持つ若手。それぞれ個性的なプログラムで好評を得た。Cでは創立100年にちなみ、楽団設立の立役者・近衛秀麿編曲の《展覧会の絵》を演奏。

■定期公演入場者と定期会員（席）数■（2026年3月末現在）

2025年度の定期公演はヨーロッパ公演の影響により、例年より2公演少ない52公演を開催したにもかかわらず、総入場者数は前年度を3000人以上上回る124,229人に達した。このうち、Bプログラムは昨年度に続き全公演のチケットが完売したほか、NHKで開催するA・Cの両プログラムも多くの公演が完売するなど盛況であった。定期会員（席）数は年間会員、シーズン会員合わせて年間平均で9,180人となり、前年度（8,262人）から900人以上の大幅な増加となった。

（2）多様な公演の展開

定期公演以外にも、音楽文化の創造・発展に寄与するコンサート、全国各地に良質な音楽をお届けする名曲コンサート、オーケストラに親しんでもらうための企画など、多種多様なプログラムを展開した。また、5年ぶりとなるヨーロッパ公演ではマーラー・フェスティバル、プラハの春音楽祭、ドレスデン音楽祭といったメジャ

ーな音楽祭への出演も含めて招聘を受け5か国6都市で8公演を実施し、各国との文化交流にも貢献した。

<特別公演>

① Music Tomorrow 2025

優れた現代音楽を取り上げて、音楽文化の発展に寄与することを目的としたコンサート。2025年は、世界が注目する作曲家イェルク・ヴィトマンを指揮者に迎え彼の近作《死の舞踏》などをお送りした。ソリストはトランペットの第一人者ホーカン・ハーデンベルガー。第72回尾高賞受賞作である権代敦彦《時と永遠を結ぶ絃》も演奏した。
(6月26日 東京オペラシティ・コンサートホール)

② N響ウェルカム・コンサート

2025-26シーズン・プログラムの聴きどころを、ダイジェスト演奏を交えながら紹介した。定期会員へのファンサービスとしてのみならず、新規顧客の開拓も目的としたコンサート。2024年までN響指揮研究員を務めた平石章人が指揮を担った。
(6月29日 NHKホール)

③ N響「夏」2025

クラシック音楽のファン層拡大を目的にしたサマー・コンサート。シューマン《ピアノ協奏曲》、ブラームス《交響曲第1番》といったおなじみの名曲を、ダーヴィット・アフカムの指揮でお届けした。
(7月18日 NHKホール)

④ 松山定期演奏会

愛媛県内の多くの企業に協賛をいただき、毎年行っている名曲コンサート。出演者・プログラムは③に準じる。
(7月20日 愛媛県県民文化会館)

⑤ オーケストラ・キャラバン

地域の文化芸術の振興を目的として文化庁が推し進めている「オーケストラ・キャラバン」。ロシアの巨匠ワレリー・ポリャンスキーを迎えてチャイコフスキーの名曲を演奏した。
(7月28日 三原市芸術文化センター ポポロ)

⑥ N響ほっとコンサート

夏休みにファミリー向けに行うコンサート。若手指揮者の松本宗利音が初登場し、人気講談師・一龍斎貞鏡を迎えた講談との初めてのコラボ《ペール・ギュント》など、盛りだくさんな内容で好評を博した。
(8月3日 NHKホール)

⑦ N響名曲コンサート2025

ビギナーにも楽しんでもらえる名曲コンサート。期待の若手ソリスト・鳥羽咲音が

弾くドヴォルザーク《チェロ協奏曲》、大友直人の指揮によるシベリウス《交響曲第2番》をお送りした。
(10月29日 サントリーホール)

⑧ N響×アニメ「青のオーケストラ」スペシャル・コンサート

Eテレのアニメ番組「青のオーケストラ」の新シリーズが2025年10月から放送されることに連動して、アニメの声優や吹替の演奏をしている演奏家を招いた公演を行った。アニメ制作社等とも内容・広報両面で連携し、公演は完売。放送のPRにもつなげた。

(12月8日 NHKホール)

⑨ ベートーヴェン「第9」演奏会

年末恒例のベートーヴェン《交響曲第9番》。

アメリカの名指揮者レナード・スラットキンを迎え、藤村実穂子、福井敬、甲斐栄次郎といった日本屈指のソリストが集結した。ソプラノは予定の中村恵理に代わって、砂田愛梨が初登場。見事に大役を務めた。

(12月20, 21, 24日 NHKホール)

(12月26日 サントリーホール)

⑩ N響ドラゴンクエスト・コンサート

人気ゲームソフト「ドラゴンクエスト」の初期から音楽に携わってきたN響が、前年度に続き、オーケストラ公演を実施。《交響組曲「ドラゴンクエストⅣ」導かれし者たち》を演奏してファンの期待に応えた。

(2月27日 東京芸術劇場)

(2月28日 パルテノン多摩)

(3月1日 松戸 森のホール21)

⑪ N響大河ドラマ&名曲コンサート

長年、NHK大河ドラマのテーマ曲演奏を手掛けてきた、N響ならではのコンサート。スコアが失われた幻の作品、武満徹《源義経》の復活蘇演から、最新作《豊臣兄弟!》まで、おなじみのテーマ音楽を次々に演奏。創立100年の特別企画としてオンド・マルトノ入りの《独眼竜政宗》や、《徳川家康》《新選組!》といった合唱付きの大掛かりな曲も取り上げた。

(3月5日 NHKホール)

<地方公演>

① NHK各放送局との共催により全国各地で実施する公演

2025年度は広島、仙台、盛岡、弘前、大阪、倉敷の合計6都市で、N響の迫力ある演奏をお楽しみいただいた。

② NHK音楽祭

毎年恒例の「NHK音楽祭」に2025年度も参加。フィンランド出身の女性指揮者エヴァ・オリカインと、注目の若手ソリスト・児玉隼人（トランペット）、ソフィア・リュウ（ピアノ）が、みずみずしい演奏を披露した。

（10月3日 NHKホール）

<契約公演>

主催者の依頼により出演する公演。「東京・春・音楽祭」や「N響オーチャード定期」のように首都圏で行うものや、全国各地の自治体等から依頼を受けて行うものなど、合計34公演を行った。

<海外公演>

2020年以來5年ぶりのヨーロッパ公演を実施。今回は、首席指揮者ファビオ・ルイーヂとベルギー（アントワープ）、オランダ（アムステルダム）、オーストリア（ウィーン、インスブルック）、チェコ（プラハ）、ドイツ（ドレスデン）の5ヶ国6都市で、8回のコンサートを行った。世界中のファンが注目するアムステルダムの「マーラー・フェスティバル」では、ベルリン・フィル、シカゴ交響楽団、地元のロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団といったトップオーケストラとともに、マーラーの交響曲全曲演奏に参加。N響は《交響曲第3番》《交響曲第4番》を担った。共演ソリストは、ピアノのルドルフ・ブヒビンダー、ソプラノのイン・ファン、メゾ・ソプラノのオレシア・ペトロヴァ、バリトンのマティアス・ゲルネ、ヴァイオリンの諏訪内晶子、チェロのヤン・フォークラーといった多彩な顔触れ。変化に富んだプログラムでヨーロッパの聴衆を魅了した。

以下、※は音楽祭への招聘を受けている公演

（5月9日 アントワープ／エリーザベト王妃ホール）

（5月11日、12日 アムステルダム／コンセルトヘボウ 大ホール）

※「マーラー・フェスティバル 2025」参加公演

（5月14日 ウィーン／ウィーン・コンツェルトハウス 大ホール）

（5月15日 プラハ／ルドルフィヌム ドヴォルザーク・ホール）

※「プラハの春 音楽祭」参加公演

（5月17日 ドレスデン／聖母教会）

※「ドレスデン音楽祭」参加公演

（5月18日 ドレスデン／文化宮殿 コンサートホール）

※「ドレスデン音楽祭」参加公演

（5月20日 インスブルック／コンGRES・インスブルック チロル・ホール）

2. 若い世代を中心にファンを拡大し音楽芸術文化を継承

(1) 若年層への浸透

① 初心者や若年層も楽しめるスペシャル・コンサート

9月に開幕する定期公演の新シーズンのラインナップをダイジェストで紹介する「N響ウェルカム・コンサート」。今年度は開催を前年度の9月上旬から6月に前倒し、お客様が新シーズンのチケット購入の参考にできるよう設定した。また、2枚1組で大幅な割引となる「ウェルカム・ペアチケット(3,200円)」を設定するなど極めてリーズナブルな特別料金で提供したこともあり、チケットは完売した。

「N響ほっとコンサート」は、夏休みに親子で楽しめるファミリー向けの公演。ロビーには楽器体験コーナーを設け楽員も自ら説明に参加するなど子どもから大人までオーケストラの魅力に触れることができる機会とした。

この他、Eテレで放送したアニメと連動した「N響×アニメ『青のオーケストラ』スペシャル・コンサート」や「N響ドラゴンクエスト・コンサート」など、アニメやゲームとコラボした親しみやすいプログラムも用意し、従来のクラシック音楽ファン以外の幅広い層にも受け入れられる公演を開催した。

② ユースチケットの重点広報

2024年7月から対象年齢を29歳以下に拡大した「ユースチケット」について、引き続き重点的な広報を展開。アニメやゲームと連動した公演時にユース登録者や購入者が大きく増加したほか、吹奏楽の愛好家や現役部員へのアプローチも試み、新たな来場者層の掘り起こしにつなげた。その結果、2025年度末で登録者数は22,825人と前年同期比で39%増となった。

(2) デジタルを活用した広範なファンの獲得

① N響公式YouTubeチャンネル

デジタルツールは幅広い世代に定着し、とりわけYouTubeは若年層にアピールするための必須の手段となっている。N響公式YouTubeチャンネルでは、世界最高峰の音楽家から新進気鋭の若手まで様々なアーティストとの演奏動画をアップしている。2025年1年間の新作コンサート動画の本数は39本で、そのほか出演者のインタビューやメッセージ動画を含めると年間掲載総数は64本に上る。またチャンネル登録者数は2025年度末に118,000人に達するなど、順調な伸びを示している。さらに2025年からの新たな取り組みとして、「新入団員メッセージ動画」の掲載を開始し好評を博している。引き続きN響ならではの魅力的なコンテンツを発信し、若者や忙しい現役世代が公演に足を運ぶきっかけにしよう。

② 多様なSNSの活用

X(旧 Twitter)、Facebook、Instagramは、コンサートの反響や公演予定の変更など

を迅速に周知する有力な速報ツールとして機能している。ストーリーズ機能を積極的に活用する一方、オフステージの様子を動画で発信するなど、SNSを使いこなす若い世代の興味を惹きつける投稿を行うことに努めた。また2025年5月のヨーロッパ公演では、訪問地の言語で現地の聴衆にメッセージを発信し、当地とN響のゆかりを紹介するという新たな試みを展開した。

(3) 子どもたちに文化を継承

① NHKこども音楽クラブ

次世代を育てる教育プログラムとしてNHKと共催し、2007年から各地の小中学校を訪ねてミニコンサートが続けている。18年目となる2025年度は、特別支援学校を含む全国11か所で実施した。楽員による楽器の説明や校歌の演奏なども行い、子どもたちと触れ合いながらオーケストラの魅力を紹介し、この様子は、地域放送局のニュースや地域番組をはじめ、NHKのホームページでも伝えた。なお、この取り組みは今年度をもって終了となった。

② 「N響といっしょ！音を楽しむ！！」

就学前の幼児を港区高輪のN響演奏所に招き、音楽や楽員との触れ合いを通して将来のクラシックファンのすそ野を広げることを目的に、5年目となる2025年度も年2回実施。各日ともに地元高輪地区の保育園2園ずつを招待した。

③ ゲームソフトメーカーとの連携

東北地方の復興支援などに取り組むゲームソフトメーカー（株式会社ポケモン）と連携し、キャラクターショーに室内楽メンバーを派遣した。これまで一緒に取り組んできた被災地の復興支援コンサートに加え、全国各地で子どもたちに絶大な人気を誇るキャラクターとのコラボによる室内楽公演等を開催。おなじみのゲーム音楽を交えた演奏を届けた。

④ 学校における音楽活動との連携

「NHK全国学校音楽コンクール」や「吹奏楽の響き」に出場・出演する児童、生徒に対し、「ユースチケット」の紹介を中心とした公演案内を配付した。NHKと連携して、音楽に興味関心の強い子どもたちに一流のクラシック音楽に触れる機会を提供することで新たなファンの獲得を目指した。

3. 社会、放送に貢献しNHKグループのブランド力を向上

(1) NHK財団と連携した社会貢献

NHKグループの社会貢献をより強化することを目的に、2023年4月、一般財団法人

NHK財団とN響は法律上の親子関係となり統合した。N響は親財団と連携して、地元からの声に応えて始まった松山定期公演（2025年度で28回目）を開催するなど、地域貢献に取り組んだ。今後とも地域貢献をはじめ、教育・福祉分野においても事業を展開し、NHKグループの社会貢献事業の中核を担っていく。

（２）次世代の未来を育む活動

① NPOと連携した子どもの招待

共働きや一人親世帯を支援するNPO法人、子どもたちが暮らす施設の運営団体などと連携して子どもたちを「N響ほっとコンサート」に招待する活動は、4年目を迎えた。日常的にオーケストラコンサートの鑑賞体験が少ない子どもたちに一人でも多くクラシック音楽の魅力を体験してもらえる機会とした。

② アウトリーチ室内楽

自治体や財団の招きに応じ、各地で行うオーケストラ公演の日程とも合わせながら各地の学校や小ホールなどを訪ねて室内楽を演奏。ファミリー向けのミニコンサートをはじめ、学生やオーケストラファンのための音楽セミナーを開催し、若い世代に音楽に親しんでもらう機会を増やした。

③ 通信制高校での教育プログラム

NHK学園の新しいオンライン授業の開発に協力し、生徒たちの感じた音や情景を楽員が曲に創作していく過程を体験できるワークショップを試行した。今後、学園と検証を重ね、本格実施に向けて取り組んでいく。

（３）福祉、地域を応援する活動

① 福祉施設、病院等への訪問

老人福祉施設や病院などの要望に基づき、入所者や患者、施設の職員に向けた室内楽コンサートを行い、安らぎの時間を過ごしてもらった。

② 地方自治体等との連携

連携協定を締結している自治体をはじめ、各地の様々な団体や自治体からの要請に基づきコンサートを実施し、全国の津々浦々にN響サウンドを届けた。ホールでの実施に限らず場所に応じた編成による楽員を派遣し、クラシック音楽の普及、文化の振興に寄与した。

③ N響が拠点を構える高輪地域への貢献

JR山手線「高輪ゲートウェイ駅」を中心とした街づくりに音楽で協力。街開きを記念するオリジナル曲の制作プロジェクトに関わり、その作品は2025年1月にN響によって演奏、録音されたが（作曲は服部隆之、指揮は下野竜也）、その後、高輪ゲ

ートウェイ駅の発車メロディーにも活用されている。これを契機に、地元で開かれる高校生のイベントや街開き行事にも参加するなど、高輪に拠点を構えるN響がクラシック音楽ファンのみならず地元にも愛されるオーケストラを目指し、音楽を通じた地元の街づくりに貢献した。

(4) NHKの放送・事業への貢献

① N響大河ドラマ&名曲コンサート

2023年度から継続して行っているコンサート。プログラム前半はN響が手がけてきた大河ドラマのテーマ曲を様々な切り口で紹介し、後半では「川」「河」をモチーフにしたクラシックの名曲を演奏することで、幅広い世代からの支持を得てきた。2026年3月には、スコアが失われた武満徹《源義経》の復活蘇演や、オンド・マルトノや合唱を伴う大規模な楽曲の演奏など、N響創立100年にふさわしい内容となった。今年度はNHKホールの他、大宮市、所沢市、松本市の3か所でも契約公演を行い、多くの方々にお楽しみいただいた。

② 放送への出演、テーマ曲の収録

- ・定期公演は、各回ともテレビのEテレ「クラシック音楽館」およびFM「ベストオブクラシック」で放送。放送後も「NHKプラス」「NHKオンデマンド」の見逃しサービスや「らじる★らじる」「radiko」の聞き逃しサービスで、期間限定で配信。
- ・特別公演は、年末の「第9」を8Kで生放送、6月の「Music Tomorrow 2025」はFM「現代の音楽」で放送。
- ・大河ドラマ「豊臣兄弟!」のテーマ曲やミニ紀行番組の録音、「名曲アルバム」録音の他、公演での取材に積極的に協力し番組制作に貢献した。
- ・2025年紅白歌合戦に出演し、番組史上最も多く歌われた「天城越え」を石川さゆりと共演し、クラシック音楽になじみのない層に存在を広く知られるようになった。
- ・2025年4月の入局式と2026年3月の放送記念日式典には弦楽四重奏を派遣。
- ・2025年5月のヨーロッパ公演は、アムステルダム公演をBS4KとEテレで放送。
- ・FM特集番組「N響・夜の座談会」では、演奏をせずトークだけで構成する50分番組に挑戦。年間3本のうち1本は11月に渋谷で行われた「NHKクラシックfes.」で公開収録を行った。

③ 視聴者リレーション活動への参加

NHKが視聴者サービスの施策として行っている「全国ケーブルテレビキャラバン」のクラシックコンサートに、これまでは楽員派遣の形で協力してきたが、2025年度からはメンバーや曲目の選定も含めてN響の事業として主体的に取り組んだ。これにより多様な楽器編成や楽員構成でさらにバラエティに富んだプログラムを全国の方々に気軽に楽しんでいただける機会となった。2025年度の実施は計17公

演。ケーブルテレビでの収録・配信にも協力し、NHKブランドの向上に寄与した。

（５）N響アカデミー

日本のオーケストラの若手演奏家の育成を目的にスタートしたN響独自の制度。楽員の直接指導や実演訓練などを経て、これまで62人（2026年3月末）が巣立ち、N響を含め内外のオーケストラで活躍している。「指揮研究員」のコースでも、N響と共演する著名な指揮者のアシスタントとして2人が研鑽を積んでいる。

（６）寄付への理解促進 ―リハーサル公開―

公益財団法人としての活動において重要な財源である特別支援企業や賛助会員の方からの支援に感謝し、N響の活動に一層理解を深めていただくため、定期公演の直前リハーサルに関係者を招待し、指揮研究員等による解説とともに見学してもらう活動を引き続き行った。

4. 世界に展開する楽団として日本のソフトパワーに貢献

（１）海外公演の実施

2025年5月、オランダ・アムステルダムで開かれるマーラー・フェスティバルに、ベルリン・フィルやシカゴ交響楽団、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団などと共に参加した。世界中のファンが注目するこの音楽祭への出演を含め、5か国6都市で8公演を行い、日本のオーケストラの高い水準を世界に示した。現地で高評価を得たことは、人口減少が続く日本国内にとどまらず、将来的に海外のファンを増やしていくことにも繋がる。経営戦略的にも意義の大きな取り組みとなった。なお本ツアーは創立100年のプレ事業であり、創立100年を内外にアピールする上でも効果的だった。

（２）国外のファンを獲得

チケット販売の外部委託先による販売データを元に国別の購入状況を分析し、ターゲットとなる国・地域や購入時期などを踏まえた販売促進施策を展開した。

また、日本在住の留学生を公演に招待し、留学生がインフルエンサーとなって公演の感想や演奏会の雰囲気などをSNSに発信してもらう取り組みも引き続き行い、多方面から国外におけるN響の知名度を高めた。

（３）訪日旅行者、留学生に向けた取り組み

① 他業種との連携

欧米で広く知られ、東京都内にもチケットショップを展開する販売業者と提携し、

訪日旅行者を対象とするチケット販売を継続した。また、訪日旅行者が多く利用するホテルに対し、コンシェルジュを通じたプロモーションを展開するなど、渋谷や原宿の観光名所に近いNHKホールでの公演への呼び込みを進めた。

② 留学生の招待

日本で学ぶ留学生に生の音楽芸術に触れてもらうための公演招待は、2025年度も230人以上の留学生を招待した。

(4) 国際発信の強化

① 英語版チケット販売サイト

海外のお客さまの利便性向上を目指して2023年に開設した英語版のチケット販売サイトの利用者数は右肩上がりを続け、2025年度もその傾向は継続した。さらなる利用者数の向上を目指し、ホームページやSNSなどN響が保有する広報媒体を通じて、同サイトへ誘導するよう努めた。また、近年導入した中国語（繁体字／簡体字）による「チケットの購入の仕方」を韓国語にも拡大し、ホームページや年間誌の「ブローシュア」などで紹介した。

② 機関誌「フィルハーモニー」等への対応

公演のプログラムや聴きどころをわかりやすく構成・編集した機関誌「フィルハーモニー」、年間誌「ブローシュア」などに引き続き英語ページを掲載し、国内外の多くの方々に届くようホームページなどでも公開した。

③ 海外メディアの活用

例年出稿しているイギリスのクラシック音楽サイト「Bachtrack」では楽員2名へのロングインタビューが掲載されるなど、単なる公演告知のレベルにとどまらない一歩踏み込んだN響についての情報発信を英語で行うことができた。海外におけるN響の存在感を高めるために、今後も同様の取り組みを継続する。

④ N響公式YouTubeチャンネル

海外の視聴者がアクセスしやすいようサムネイル画像の改善などを積み重ねたが、海外からの視聴回数は2024年度に比べ若干減少した。今後海外向けの周知の強化、「概要欄」の英語による表示を進めるなど、より海外から視聴回数を増やす工夫を重ねていく。

⑤ 国際放送

海外向けの国際放送「NHKワールドJAPAN」で7年目を迎えるN響の演奏を特集した番組、「Masterpiece Performed by NHK Symphony Orchestra」の制作に、

引き続き協力した。放送された演奏は、インターネットによるライブストリーミングやオンデマンドサービスで世界各地での視聴が可能であり、国際発信によってN響のプレゼンスをさらに高めていく。

5. 放送 100 年への貢献、N響創立 100 年を歴史に刻む事業

(1) 放送 100 年への貢献

放送 100 年記念事業として、2025 年 3 月に開催した「N響大河ドラマ&名曲コンサート」の様子が 5 月に特集番組として放送された他、10 月にはNHK主催の「NHK音楽祭」や「NHKクラシック fes.」に出演、12 月にはアニメ番組「青のオーケストラ」と連動したコンサートをNHKホールで実施した。また大晦日の「NHK紅白歌合戦」には、オーケストラの形態としては初めて出演する機会を得て、石川さゆりと「天城越え」を競演し、放送 100 年とN響 100 年をアピールした。

いずれも、大きな反響をいただいた他、クラシック音楽ファン以外の方々にもN響の演奏に触れていただく機会となり、放送 100 年を盛り上げるとともに、次の年に迎えるN響 100 年を知っていただくことにつながることができた。

(2) N響 100 年に向けた取り組み

1926 年 10 月に「新交響楽団」の名称で創立され、2026 年に「創立 100 年」を迎えることから、2026 年 1 月からの事業は全て「N響 100 年」事業と位置づける形で企画・準備を進め、10 月に公演を中心に主な事業をリリースした。また、記念のロゴマークを使ってプロモーションを展開するなど祝祭の機運を盛り上げた他、1 月からは定期公演、特別公演の会場にN響 100 年を記念した装飾を施し、来場者を迎えている。「N響 100 年」事業では、創立 100 年にふさわしい特別公演、記念公演、新曲の委嘱・初演、定期公演の特別企画などを計画して 1 月から実施。あわせて、記念サイトを立ち上げ、その中で 100 年におよぶ膨大な演奏会記録や資料のアーカイブを公開する他、N響の歴史を紹介する特別展示やN響 100 年史の発行など「N響 100 年」事業にふさわしい、公演以外の様々な取り組みも企画し、準備を進めた。

なお、この「特別な 1 年」のサポートを希望するファンには「N響 100 年個人サポーター」として 1 年限定の低額寄付を、特別支援団体や賛助会員等からは「N響 100 年特別賛助会員」として 1 年限定の特別寄付を募集し、総額で 5,240 万円が集まった。この寄付金については 2026 年度予算に計上し、「N響 100 年」事業に充当するとともに、ご支援をいただいた方々には、会場やホームページ、印刷物へのご芳名掲載等を行い、感謝の意を表した。

6. 経営の安定化とマネジメントの強化

(1) 増収の努力

円安や物価高によって公演経費が引き続き上昇しているため、支出の大きい公演については経費に見合った公演料金に見直して収支の適正化を図った。また、フルオーケストラによる公演を開催する一方で、自治体や企業各社からの要請による室内楽派遣を100件程度実施し、収入増を図った。併せて、N響ならではの豪華さや芸術性を追求するとともに、ドラゴンクエスト・コンサートやNHK大河ドラマコンサートなどクラシック音楽ファン以外にも楽しめるプログラムを提供し、ファン層の拡大による公演収入の増加を図った。

この他、賛助会員の寄付（1口50万円）については、団全体の営業努力によって354口となり、データが保存されている1992年度以降、過去最高となった。また4月から10月にかけてN響100年への支援も目的に1年限定の「N響100年個人サポーター」と「N響100年特別賛助会員」を募集して、新たな寄付金も集めるなど経営の安定化を図った。

(2) 経費の節減

NHKからの助成金は2023年度の2億円、2024年度の1億円の削減に続き、2025年度もあわせて0.5億円の削減が行われ、厳しい財政運営を余儀なくされた。公演への影響を抑えつつ、引き続き前3か年中期経営計画で実施した退職非補充後の要員数を維持し、事務局を中心に経費の節減に努めた。テレワーク普及のために計画していた全職員への携帯端末の配布の一部延期を継続するほか、ITツールの活用によるペーパーレスの促進、SNS活用を基本とする広報展開へのシフトなど、きめ細かな支出削減に努めた。

(3) マネジメントの強化

経営の環境が厳しさを増す中、公演ごとの収支を逐次点検、検証し、部内での共有を徹底するなど、管理会計を行いながら適切な財政運営を実施した。業務を部分的に外注化することで新たに生まれたパワーを営業活動や多様なツールを活用した広報展開、チケット販売の戦略立案機能強化にシフトするなど、多様化する業務に機動的に対応する体制の構築と職員のマルチスキル化を図った。また、ワーク・ライフ・バランスに資するためリモートワークシステムを導入しテレワークを推進するとともに、多様な働き方に合わせて情報セキュリティ強化のための訓練や研修、個人情報に関する点検を行い、職員の対応力と情報リテラシーを高めた。NHK財団とも連携しながら、リスクマネジメントやコンプライアンスの徹底を図るとともに、2023年度に内部監査で指摘された項目のフォローアップも継続し、内部統制を高めた。7月28日から8月1日の間、NHK内部監査室による関連団体調査（実地監査）が行われ、「管理レベルは適正だった」との評価を受けた。

7. 顕彰の実施

(1) 尾高賞

故・尾高尚忠氏の功績をたたえ、邦人作曲家による優れたオーケストラ作品を顕彰するために 1952 年に設けた作曲賞。73 回目となる 2025 年度は、我妻英氏の管弦楽のための《祀（まつる）》が選ばれた。贈呈式と受賞作品の演奏は、2026 年 7 月、東京オペラシティ・コンサートホールで開催される「Music Tomorrow 2026」で行われる。

(2) 有馬賞

故・有馬大五郎氏（元・当団副理事長）の偉業を記念して、1981 年に設けた賞で、当団の発展に功績のあった関係者、関係団体、職員が授賞の対象。2025 年度は、アジア・ヨーロッパ公演において、豊富な知見のもと安全かつ円滑な行程を実現させ、N響の海外公演の成功を支えるとともに、23 年にわたり賛助会員としてN響の発展に尽くし、日本の音楽文化の向上と国際発信に多大な貢献をされた株式会社読売旅行の海外公演担当チームに授与した。

8. 法人の概況

1. 設立年月日

1942 年 4 月 27 日

1926 年 10 月 5 日 「新交響楽団」（任意団体）設立

1942 年 4 月 27 日 「財団法人 日本交響楽団」設立

1951 年 8 月 1 日 「財団法人 NHK 交響楽団」に改称

2010 年 4 月 1 日 「公益財団法人 NHK 交響楽団」設立

2. 目的

交響管弦楽により、わが国音楽芸術の向上発展を図り、その社会文化使命を達成することをもって目的とする。

3. 事業内容

- (1) 放送演奏
- (2) 公開演奏
- (3) 演奏に必要な研究ならびに施設の運営
- (4) 機関雑誌の発行
- (5) その目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁

内閣府

5. 会員状況（2026 年 3 月 31 日現在）

- (1) 定期会員 9,180 人 ※年度平均値
- (2) 賛助会員 218 社（人） 354 口（1 口 50 万円）

6. 特別支援・協力企業

- (1) 特別支援企業
岩谷産業株式会社、三菱地所株式会社、株式会社みずほ銀行、
公益財団法人渋谷育英会、東日本旅客鉄道株式会社、NTT 東日本株式会社、
東京海上ホールディングス株式会社、株式会社ポケモン
- (2) 特別協力企業
BMW ジャパン、全日本空輸株式会社、ヤマハ株式会社、ぴあ株式会社

7. 事務所所在地

事務所・練習場

東京都港区高輪 2-16-49

9. 処務の概況

1. 理事・監事および評議員に関する事項

(1) 理事・監事

(2026年3月31日現在)

役 職	氏 名	担当職務・現職
理事長	中野谷 公一	
常務理事	三溝 敬志	演奏制作・企画プロモーション
常務理事	大曾根 聡子	経営管理
理 事	相川 直樹	慶應義塾大学 名誉教授
理 事	内永 ゆか子	(株)GRI 代表取締役社長
理 事	岡田 知之	洗足学園音楽大学 名誉教授
理 事	杉山 博孝	三菱地所(株) 特別顧問
理 事	銭谷 眞美	(公財)新国立劇場運営財団 理事長
理 事	田辺 雅泰	NHK財団 常務理事
理 事	團 宏明	(公財)通信文化協会 参与
理 事	毛利 衛	日本科学未来館 名誉館長、宇宙飛行士
監 事	春原 雄策	NHK グループ経営戦略局 局長
監 事	濱村 和則	公認会計士

(2) 評議員

(2026年3月31日現在)

役 職	氏 名	現 職
評 議 員	井上 樹彦	NHK 会長
評 議 員	江頭 敏明	三井住友海上火災保険(株) 名誉顧問
評 議 員	樺山 紘一	東京大学 名誉教授
評 議 員	菅原 直	NHK財団 社会貢献事業本部長
評 議 員	清野 智	東日本旅客鉄道(株) 顧問
評 議 員	田中 宏暁	NHK財団 理事長
評 議 員	檀 ふみ	女優
評 議 員	坪井 節子	(社福)カリヨン子どもセンター 理事・弁護士
評 議 員	根本 拓也	NHK 理事
評 議 員	前田 昭雄	ウィーン大学名誉教授
評 議 員	三浦 惺	NTT(株) 特別顧問
評 議 員	山名 啓雄	NHK 副会長
評 議 員	渡邊 修	石油資源開発(株) 特別顧問

2. 理事・監事および評議員の異動に関する事項

区 分	年 月 日	辞任・退任	新 任
評議員	2025 年 6 月 23 日	中嶋 太一	
評議員	2025 年 6 月 23 日		根本 拓也
評議員	2026 年 1 月 26 日	稲葉 延雄	
評議員	2026 年 1 月 26 日		井上 樹彦

3. 職員に関する事項

(2026 年 3 月 31 日現在)

職 種	人 数	平均年齢
楽 員	100 人	45.9 歳
事務職員	25 人	50.4 歳
合計または平均	125 人	46.8 歳

注) 2026 年 3 月 31 日退職者は含まず。

4. 会議に関する事項

(1) 理事会の開催状況 (書面決議の場合、年月日は決裁日)

区 分	年 月 日	議 題
第 83 回理事会	2025 年 6 月 3 日	1. 業務運営状況報告 2. 2024 年度事業報告及び収支決算 3. 第 47 回評議員会の開催
第 84 回理事会 (書面)	2025 年 6 月 30 日	1. 常勤理事 3 名の報酬額設定の件
第 85 回理事会 (書面)	2026 年 1 月 14 日	1. 評議員の選任 2. 第 48 回評議員会 (書面) の開催
第 86 回理事会 (書面)	2026 年 2 月 13 日	1. 第 49 回評議員会の開催
第 87 回理事会	2026 年 3 月 26 日	1. 業務運営状況報告 2. 2026 年度事業計画及び収支予算 3. 特定費用準備資金等取扱規則の改正について

(2) 評議員会の開催状況（書面決議の場合、年月日は決裁日）

区 分	年 月 日	議 題
第 47 回評議員会	2025 年 6 月 23 日	1. 2024 年度事業報告及び収支決算 2. 評議員の選任・理事の再任
第 48 回評議員会 （書面）	2026 年 1 月 26 日	1. 評議員の選任
第 49 回評議員会	2026 年 3 月 26 日	1. 2026 年度事業計画及び収支予算

10. 理事および監事に支払った報酬の額

当事業年度における当財団の理事および監事に対する報酬の内容は以下の通り。

役員区分	報酬の総額 （千円）	報酬等の種類別の総額		対象となる 役員数（人）
		定額部分	変動部分	
理 事	45,876	37,560	8,316	3
監 事	2,520	2,520	0	1

※当事業年度末の人員数は理事 11 名、監事 2 名。うち非常勤理事 8 名、非常勤監事 1 名は無報酬であり、上記人員には含まれていない。

(参考資料)

2025年度 公演概要

公演	年間公演回数	年間入場者	内容
定期公演	52回	124,229人	Aプログラム18回（NHKホール） Bプログラム18回（サントリーホール） Cプログラム16回（NHKホール）
特別公演	16回	35,887人	Music Tomorrow2025、ウェルカム・コンサート、N響「夏」、松山公演、オーケストラ・キャラバン、ほっとコンサート、名曲コンサート 青のオーケストラ、第9公演（4回）、ドラクエコンサート（3回）、大河ドラマ&名曲コンサート
地方公演	7回	11,293人	広島、仙台、盛岡、弘前、NHK音楽祭、大阪、倉敷
放送・録音 演奏	6回	—	大河ドラマ「べらぼう」劇中音楽録音 ポケモン テーマ音楽等録音 名曲アルバム 録音 大河ドラマ「豊臣兄弟！」テーマ曲、「豊臣兄弟！紀行」BGM録音 紅白歌合戦 生放送出演
契約公演	34回	—	東京・春・音楽祭（東京文化会館2回）、 オーチャード定期（4回）、所沢、船橋東葉 高校創立記念コンサート、厚木、東京国際 指揮者コンクール入賞コンサート（サント リーホール）、府中、大阪、三河安城、姫 路、福山、川崎、練馬、サントリーホール 公演、埼玉、郡山、足利、かつしか、多摩、 豊田、映像の世紀コンサート、N響第九チ ャリティーコンサート（NHKホール）、 つくば、都民音楽フェスティバル（東京芸 術劇場）、福岡、大宮、所沢、松本、いわ き、東京・春・音楽祭（東京文化会館）
海外公演	8回	—	アントワープ、アムステルダム（マラー・ フェスティバル2回）、ウィーン、ドレス デン（ドレスデン音楽祭2回）、プラハ（プ ラハの春国際音楽祭）、インスブルック

2025年度 演奏活動実績

- ◆定期公演 (2025年4月～2025年6月：A, C：NHKホール、B：サントリーホール)
(2025年9月～2026年2月：A, C：NHKホール、B：サントリーホール)

4月	A	第2034回 4/12, 13 指揮：パーヴォ・ヤルヴィ、Va：アントワヌ・タメステイ ベルリオーズ：交響曲「イタリアのハロルド」 プロコフィエフ：交響曲第4番 ハ長調 作品112（改訂版／1947年）
	B	第2035回 4/17, 18 指揮：パーヴォ・ヤルヴィ、Pf：ベンジャミン・グローヴナー ストラヴィンスキー：バレエ音楽「ペトルーシカ」（全曲／1947年版） ブリテン：ピアノ協奏曲 作品13 プロコフィエフ：交響組曲「3つのオレンジへの恋」作品33bis
5月	A	第2036回 4/26, 27 指揮：ファビオ・ルイージ、Ms：オレシア・ペトロヴァ 合唱：東京オペラシンガーズ、児童合唱：NHK東京児童合唱団 マーラー：交響曲第3番 ニ短調
	B	第2037回 5/1, 2 指揮：ファビオ・ルイージ、Vn：諏訪内晶子*、S：森麻季 ベルク：ヴァイオリン協奏曲* マーラー：交響曲第4番 ト長調
	C	第2038回 5/30, 31 指揮：ギエドレ・シュレキーテ、Pf：藤田真央 シューベルト：「ロザムンデ」序曲 ドホナーニ：童謡（きらきら星）の主題による変奏曲 作品25 R. シュトラウス：歌劇「影のない女」による交響的幻想曲 R. シュトラウス：歌劇「ばらの騎士」組曲
6月	A	第2039回 6/7, 8 指揮：フアンホ・メナ、Pf：ユリアンナ・アヴデーエワ リムスキー・コルサコフ：歌劇「5月の夜」序曲 ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲 作品43 チャイコフスキー：交響曲第6番 ロ短調 作品74「悲愴」
	B	第2040回 6/12, 13 指揮：フアンホ・メナ、Fl：カール・ハインツ・シュッツ イベール：フルート協奏曲 ブルックナー：交響曲第6番 イ長調

	C	第 2041 回 6/20, 21 指揮：タルモ・ペルトコスキ、Vn：ダニエル・ロザコヴィッチ コルンゴルト：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品 35 マーラー：交響曲第 1 番 ニ長調「巨人」
9 月	A	第 2042 回 9/13, 14 指揮：ファビオ・ルイージ、Pf：イエフィム・ブロンフマン ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第 5 番 変ホ長調 作品 73「皇帝」 フランツ・シュミット：交響曲第 4 番 ハ長調
	B	第 2043 回 9/18, 19 指揮：ファビオ・ルイージ、Vn マリア・ドウエニャス 武満徹：3つの映画音楽 ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品 61 メンデルスゾーン：交響曲第 4 番 イ長調 作品 90「イタリア」
	C	第 2044 回 9/26, 27 指揮：ライアン・バンクロフト、Br：トマス・ハンプソン マーラー：「こどもの不思議な角笛」から「ラインの伝説」「トランペットが美しく鳴り響くところ」 「浮世の生活」「天上の生活」「原光」 シベリウス：交響詩「4つの伝説」 作品 22
10 月	A	第 2046 回 10/18, 19 指揮：ヘルベルト・ブロムシュテット、 S:クリスティーナ・ランツハマー、MS：マリー・ヘンリエット・ラインホルト、 T:ティルマン・リヒディ、合唱：スウェーデン放送合唱団 ストラヴィンスキー：詩篇交響曲 メンデルスゾーン：交響曲第 2 番 変ロ長調 作品 52「讃歌」
	B	第 2045 回 10/9, 10 指揮：ヘルベルト・ブロムシュテット、Fl：セバスチャン・ジャコー グリーク：組曲「ホルベアの時代から」 作品 40 ニルセン：フルート協奏曲 シベリウス：交響曲第 5 番 変ホ長調 作品 82
	C	第 2047 回 10/24, 25 指揮：ヘルベルト・ブロムシュテット、Pf：レイフ・オヴェ・アンスネス ブラームス：ピアノ協奏曲第 2 番 変ロ長調 作品 83 ブラームス：交響曲第 3 番 ヘ長調 作品 90

11 月	A	第 2048 回 11/8, 9 指揮：シャルル・デュトワ、Pf：小菅優、オンド・マルトノ：大矢素子 女声合唱：東京オペラシンガーズ メシアン：神の現存の 3 つの小典礼 ホルスト：組曲「惑星」作品 32
	B	第 2050 回 11/20, 21 指揮：ラファエル・パヤーレ、Pf：エマニュエル・アックス シューマン：「マンフレッド」序曲 モーツァルト：ピアノ協奏曲第 25 番 ハ長調 K. 503 R. シュトラウス：交響詩「英雄の生涯」作品 40
	C	第 2049 回 11/14, 15 指揮：シャルル・デュトワ、合唱：二期会合唱団 ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ ラヴェル：組曲「クープランの墓」 ラヴェル：バレエ音楽「ダフニスとクロエ」（全曲）
12 月	A	第 2051 回 11/29, 30 指揮：ファビオ・ルイージ、Vn：レオニダス・カヴァコス ショスタコーヴィチ：ヴァイオリン協奏曲第 1 番 イ短調 作品 77 ツェムリンスキー：交響詩「人魚姫」
	B	第 2052 回 12/4, 5 指揮：ファビオ・ルイージ、Pf：トム・ボロー 藤倉大：管弦楽のためのオーシャン・ブレイカー（2025）[N響委嘱／世界初演] フランク：交響的変奏曲 サン・サーンス：交響曲第 3 番 ハ短調 作品 78「オルガン付き」
	C	第 2053 回 12/12, 13 指揮：ファビオ・ルイージ Pf：エリック・ルー（第 19 回ショパン国際ピアノコンクール優勝） ショパン：ピアノ協奏曲 第 1 番 ホ短調 作品 11 または第 2 番 ヘ短調 作品 21 ニルセン：交響曲第 4 番 作品 29「不滅」
1 月	A	第 2054 回 1/17, 18 指揮：トゥガン・ソヒエフ マーラー：交響曲第 6 番 イ短調「悲劇的」

	B	第 2056 回 1/29, 30 指揮：トゥガン・ソヒエフ、Pf：松田華音 ムソルグスキー（ショスタコーヴィチ編）： 歌劇「ホヴァンシチナ」から前奏曲「モスクワ川の夜明け」 ショスタコーヴィチ：ピアノ協奏曲第 2 番 ヘ長調 作品 102 プロコフィエフ：交響曲第 5 番 変ロ長調 作品 100
	C	第 2055 回 1/23, 24 指揮：トゥガン・ソヒエフ、Vc：上野通明 ドビュッシー：牧神の午後への前奏曲 デュティユー：チェロ協奏曲「遙かなる遠い国へ」 リムスキー・コルサコフ：組曲「サルタン皇帝の物語」作品 57 ストラヴィンスキー：バレエ組曲「火の鳥」（1919 年版）
2 月	A	第 2057 回 2/7, 8 指揮：フィリップ・ジョルダン、S：タマラ・ウィルソン シューマン：交響曲第 3 番 変ホ長調 作品 97「ライン」 ワーグナー：楽劇「神々のたそがれ」から 「ジークフリートのラインの旅」「ジークフリートの葬送行進曲」 「ブリュンヒルデの自己犠牲」
	B	第 2059 回 2/19, 20 指揮：ヤクブ・フルシャ、Vn ヨーゼフ・シュパチェク ドヴォルザーク：ヴァイオリン協奏曲 イ短調 作品 53 ブラームス：セレナード第 1 番 ニ長調 作品 11
	C	第 2058 回 2/13, 14 指揮：ゲルゲイ・マダラシュ、Tp：菊本和昭 コダーイ：ハンガリー民謡「くじゃく」による変奏曲 フンメル：トランペット協奏曲 ホ長調 ムソルグスキー（近衛秀麿 編）：組曲「展覧会の絵」

◆特別公演

6 月	Music Tomorrow 2025 <6/26> 東京オペラシティ・コンサートホール 指揮：イェルク・ヴィトマン、Tr：ホーカン・ハーデンベルガー、Vn：辻彩奈 権代敦彦：時と永遠を結ぶ絃－ヴァイオリンとオーケストラのための Op. 193（第 72 回尾高賞受賞作品） ヴィトマン：死の舞踏<日本初演> ヴィトマン：楽園へ（迷宮 VI）－トランペットとオーケストラのための<日本初演>
-----	--

	N響ウェルカム・コンサート <6/29> NHKホール 指揮：平石章人、Cl：松本健司、司会：大林奈津子 ワーグナー：楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲（抜粋） ツェムリンスキー：交響詩「人魚姫」第2楽章（抜粋） グリーク：組曲「ホルベアの時代から」－「ガヴオット」 シベリウス：交響詩「4つの伝説」－「レンミンケイネンの帰郷」 モーツァルト：クラリネット協奏曲 － 第2楽章 外山雄三：管弦楽のためのディヴェルティメント － 第3楽章 ストラヴィンスキー：バレエ組曲「火の鳥」（1919年版）－「王女たちの踊り」 ホルスト：組曲「惑星」－「木星」
7月	N響「夏」2025 <7/18> NHKホール 指揮：ダーヴィット・アフカム、Pf：マルティン・ヘルムヒェン シューマン：ピアノ協奏曲 イ短調 作品54 ブラームス：交響曲第1番 ハ短調 作品68
	松山定期演奏会 <7/20> 愛媛県民文化会館 N響「夏」<7/18>と同プログラム
	オーケストラ・キャラバン <7/28> 三原市芸術文化センター ポポロ 指揮：ワレリー・ポリャンスキー、Pf：エヴァ・ゲヴォルギヤン チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 作品23 チャイコフスキー：交響曲第5番 ホ短調 作品64
8月	ほっとコンサート <8/3> NHKホール 指揮：松本宗利音、Pf：阪田知樹、ナビゲーター&講談：一龍斎貞鏡 バーンスタイン：歌劇「キャンディード」序曲 グリーク：劇音楽「ペール・ギュント」から（オーケストラ×講談） ガーシュウィン：ラブソディー・イン・ブルー メンデルスゾーン：交響曲第3番 イ短調 作品56「スコットランド」－ 第2楽章 チャイコフスキー：イタリア奇想曲 作品45から ワーグナー：楽劇「神々のたそがれ」－「ジークフリートのラインの旅」から
10月	N響名曲コンサート 2025 <10/29> サントリーホール 指揮：大友直人、Vc：鳥羽咲音 ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 ロ短調 作品104 シベリウス：交響曲第2番 ニ長調 作品43

12月	N響×アニメ「青のオーケストラ」スペシャル・コンサート <12/8> NHKホール 指揮：キンボー・イシイ、ヴァイオリン：東亮汰、山田友里恵、ゲスト（声優）：土屋神葉（佐伯直役）、神谷浩史（佐久間優介 役）、司会：林田理沙アナウンサー クリスマスメドレー（もろびとこぞりて〜アヴェ・マリア〜ハレルヤ・コーラス／萩森英明編） ドヴォルザーク：交響曲第9番 ホ短調 作品95「新世界から」－第4楽章 チャイコフスキー：バレエ組曲「くるみ割り人形」作品71a－「花のワルツ」 サン・サーンス：歌劇「サムソンとデリラ」－「バックナール」 バッハ：2つのヴァイオリンのための協奏曲 ニ短調 BWV1043 －第1楽章、第3楽章 メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64－第1楽章から 芥川也寸志：交響管弦楽のための音楽 ベートーヴェン：交響曲第9番 ニ短調 作品125 「合唱つき」
	第9公演 <12/20, 21, 24> NHKホール <12/26> サントリーホール 指揮：レナード・スラットキン、S：砂田愛梨、MS：藤村実穂子、T：福井敬、Br：甲斐栄次郎 合唱：新国立劇場合唱団、オルガン：近藤岳（12/26のみ） バッハ：前奏曲とフーガ 変ホ長調 BWV552 （12/26のみ） ベートーヴェン：交響曲第9番 ニ短調 作品125 「合唱つき」
2月	N響 ドラゴンクエスト・コンサート <2/27>東京芸術劇場、<2/28>パルテノン多摩、<3/1>松戸森のホール21 指揮：下野竜也 すぎやまこういち：交響組曲「ドラゴンクエストIV」導かれし者たち
3月	N響大河ドラマ&名曲コンサート <3/5> NHKホール 指揮：沖澤のどか、薩摩琵琶：友吉鶴心、龍笛：稲葉明德、竈門拓也、岩崎達也、二十五絃箏：中井智弥、尺八：長須与佳、オンド・マルトノ：大矢素子、テノール：工藤和真、シンセサイザー：篠田元一、電子パーカッション：篠田浩美、児童合唱：NHK東京児童合唱団、男声合唱：慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男性合唱団、司会：田添菜穂子、特別ゲスト：高橋英樹 「風林火山」「豊臣兄弟！」「独眼竜政宗」「八代将軍吉宗」「春日局」 「源義経」「夢千代日記」「竜馬がゆく」「徳川家康」「新選組！」 ワーグナー（フンバーディンク編）：楽劇「神々のたそがれ」－「夜明けとジークフリートのラインの旅」、イヴァノヴィチ：ワルツ「ドナウ川のさざ波」、スメタナ：交響詩「モルダウ」

◆地方公演

7 月	広島公演<7/21> 上野学園ホール N響「夏」<7/18>と同プログラム
8 月	仙台公演 <8/22> 仙台銀行ホール イズミティ 21 盛岡公演 <8/23> 盛岡市民文化ホール 弘前公演 <8/24> 弘前市民会館 指揮：トン・コープマン、Vn：佐藤俊介 モーツァルト：セレナーデ ニ長調 K. 239 「セレナータ・ノットウルナ」 モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第4番 ニ長調 K. 218 モーツァルト：交響曲第41番 ハ長調 K. 551 「ジュピター」
10 月	NHK音楽祭 <10/3> NHKホール 指揮：エヴァ・オリカイネン、Tp：児玉隼人、Pf：ソフィア・リュウ ラヴェル：ラ・ヴァルス トマジ：トランペット協奏曲 サン・サーンス：ピアノ協奏曲第2番 ト短調 作品 22 R. シュトラウス：歌劇「ばらの騎士」組曲
	大阪公演 <10/4> NHK大阪ホール NHK音楽祭<10/3>と同プログラム
2 月	倉敷公演 <2/22> 倉敷市民会館 定期公演 2 月 B プロ<2/19, 20>と同プログラム

◆放送演奏・録音 ※公演の放送は除く

6 月	放送録音 <6/2> 大河ドラマ「べらぼう」劇中音楽など 指揮：下野竜也
7 月	録音 <7/1> ポケモン テーマ音楽など 指揮：永峰大輔
	放送録音 <7/15> 名曲アルバム 指揮：沼尻竜典 ワーグナー：ワルキューレの騎行、R. シュトラウス：歌劇「ばらの騎士」組曲 ブラームス：交響曲第1番
9 月	放送録音 <9/29> 大河ドラマ「豊臣兄弟！」テーマ曲、「豊臣兄弟！紀行」BGM 指揮：沼尻竜典
12 月	紅白歌合戦 <12/31> 指揮：下野竜也 天城越え（石川さゆりとのコラボレーション）

◆契約公演

4月	東京・春・音楽祭 <4/4, 6> 東京文化会館 指揮：マレク・ヤノフスキ S：アドリアナ・ゴンザレス、MS：ターニャ・アリアーネ・バウムガルトナー T：ステュアート・スケルトン、BS：タレク・ナズミ 合唱：東京オペラシンガーズ ベートーヴェン：ミサ・ソレムニス（荘厳ミサ曲）ニ長調 作品 123
	オーチャード定期 <4/20> オーチャードホール 定期公演 4月 Bプロ <4/17, 18>と同プログラム
5月	所沢公演 <5/5> 所沢ミューズ 指揮：ファビオ・ルイージ、Pf：リーズ・ドゥ・ラ・サール 武満徹：3つの映画音楽 グリーク：ピアノ協奏曲 イ短調 作品 16 ブラームス：交響曲第4番 ホ短調 作品 98
6月	船橋学園東葉高校創立 100 周年記念コンサート <6/16> すみだトリフォニーホール 指揮：太田弦、Vn：荒井里桜、司会：竹平晃子 ジョン・ウィリアムズ：「スターウォーズ」メインテーマ バッハ：組曲第3番 BWV1068 - 「アリア」 ブラームス：ハンガリー舞曲第5番 ブリテン：青少年のための管弦楽入門 アンダソン：トランペット吹きの日 モンティ：チャールダーシュ メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品 64 - 第1楽章（抜粋） 芥川也寸志：弦楽のためのトリプティーク 第1楽章 チャイコフスキー：バレエ音楽「くるみ割り人形」- 「花のワルツ」 エルガー：「威風堂々」第1番
7月	厚木公演 <7/5> 厚木市文化会館 指揮：川瀬賢太郎、バンドネオン：三浦一馬 マルケス：ダンソン 第2番 ピアソラ：バンドネオン協奏曲「アコンカグア」 ヒナステラ：バレエ組曲「エスタンシア」作品 8a バーンスタイン：「ウエスト・サイド・ストーリー」からシンフォニック・ダンス
	オーチャード定期 <7/6> オーチャードホール 厚木公演<7/5>と同プログラム

	東京国際指揮者コンクール・入賞デビューコンサート <7/10> サントリーホール ストラヴィンスキー：バレエ組曲「火の鳥」(1919 年版) 指揮：吉崎理乃（日本、第 3 位） ガーシュウィン：パリのアメリカ人 指揮：ライリー・コート・ウッド（イギリス、第 2 位） ブラームス：交響曲第 1 番 ハ短調 作品 68 指揮：コルニリオス・ミハイリディス（ギリシャ、第 1 位）
	N響ゴールデン・クラシック <7/13> 府中の森芸術劇場 指揮：熊倉優、Pf：若林顕 ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第 2 番 ハ短調 作品 18 リムスキー・コルサコフ：交響組曲「シェエラザード」作品 35
	N響「夏」2025 大阪公演 <7/19> ザ・シンフォニーホール N響「夏」<7/18>と同プログラム
	アイシン・エイ・ダブリュ公演 <7/26> アイシン・エイ・ダブリュ・ハーモニーホール オーケストラ・キャラバン<7/28>と同プログラム
	姫路公演 <7/27> アクリエひめじ オーケストラ・キャラバン<7/28>と同プログラム
	福山公演 <7/29> ふくやまリーデンローズ オーケストラ・キャラバン<7/28>と同プログラム
8 月	フェスタサマーミューザ <8/4> ミューザ川崎シンフォニーホール 松本宗利音、Pf：阪田知樹 チャイコフスキー：イタリア奇想曲 作品 45 ガーシュウィン：ラプソディー・イン・ブルー メンデルスゾーン：交響曲第 3 番 イ短調 作品 56 「スコットランド」
	練馬公演 <8/30> 練馬文化センター 指揮：飯森範親、Vn：大谷康子 ヨハン・シュトラウスⅡ世：喜歌劇「こうもり」序曲 シュトルツ（萩森英明 編）：映画音楽「モナ・リザの失踪」から レスピーギ：「ボッティチェリの 3 枚の絵」－「ヴィーナスの誕生」 ヴィヴァルディ：4 つのヴァイオリンのための協奏曲 ロ短調 作品 3-10 － 第 1 楽章 ドビュッシー：交響詩「海」－第 1 楽章 アダン：バレエ音楽「ジゼル」から序奏 ブロッホ：パール・シェム ラター（萩森英明 編）：ゲール人の祝福 ムソルグスキー（ラヴェル編）：組曲「展覧会の絵」－「バーバ・ヤーガの小屋」「キエフの大きな門」

9 月	ストーリーア公演 <9/2> サントリーホール 指揮：広上淳一、Vn：服部百音 プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲第1番 ニ長調 作品19 ストラヴィンスキー：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品77
	埼玉公演 <9/6> 埼玉会館 指揮：角田鋼亮、Vn：中野りな モーツァルト：歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲 チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35 ベートーヴェン：交響曲第5番 ハ短調 作品67「運命」
	郡山公演 <9/7> けんしん郡山文化センター 埼玉公演<9/6>と同プログラム
	足利公演 <9/21> あしかがフラワーパークプラザ 9月B定期 <9/18, 19>と同プログラム
10 月	N響ベストクラシックス <10/13> かつしかシンフォニーヒルズ 指揮：沼尻竜典、Vn：岡本誠司 ロッシニ：歌劇「ウィリアム・テル」序曲 ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調 作品26 ドヴォルザーク：交響曲第8番 ト長調 作品88
11 月	オーチャード定期 <11/2> オーチャードホール 指揮：広上淳一、Pf：小林海都 伊福部昭：SF 交響ファンタジー第1番 モーツァルト：ピアノ協奏曲第21番 ハ長調 K.467 ラヴェル：ボレロ ファリャ：バレエ組曲「三角帽子」第1番、第2番
	多摩公演 <11/3> パルテノン多摩 オーチャード定期<11/2>と同プログラム
	豊田公演 <11/23> 豊田市民文化会館 定期公演Bプロ<11/20, 21>と同プログラム
12 月	映像の世紀コンサート <12/16> サントリーホール 指揮：下野竜也、Pf 加古隆、ナレーション：山根基世 加古隆：パリは燃えているか 時の刻印 シネマトグラフ はるかなる王宮 神のパッサカリア 最後の海戦 未来世紀 大いなるもの東方より マネーは踊る 狂気の影 黒い霧 ザ・サード・ワールド 睡蓮のアトリエ 愛と憎しみの果てに

	NHK厚生文化事業団 第9公演 <12/23> NHKホール 12月第9公演と同プログラム
1月	オーチャード定期 <1/11> みなとみらいホール 指揮：トゥガン・ソヒエフ ベートーヴェン：交響曲第7番 イ短調 作品92 ロッシーニ：歌劇「どろぼうかかさざ」序曲 バーバー：弦楽のためのアダージョ ワーグナー：楽劇「ワルキューレ」－「ワルキューレの騎行」 ヨハン・シュトラウスⅡ世：ワルツ「美しく青きドナウ」作品314 つくば公演 <1/12> ノバホール オーチャード定期<1/11>と同プログラム
2月	都民音楽フェスティバル <2/2> 東京芸術劇場 指揮：横山奏、F1：工藤重典 モーツァルト：歌劇「イドメネオ」序曲 モーツァルト：フルート協奏曲第1番 ト長調 K. 313 チャイコフスキー：バレエ音楽「白鳥の湖」作品20（抜粋） 福岡公演 <2/23>福岡シンフォニーホール 定期公演Bプロ<2/19, 20>と同プログラム
3月	N響大河ドラマ&名曲コンサート（大宮） <3/6> 大宮ソニックシティ 指揮：沖澤のどか、薩摩琵琶：友吉鶴心、龍笛：稲葉明德、瀬瀬拓也、岩崎達也、トランペット： 菊本和昭、シンセサイザー：篠田元一、司会：田添菜穂子 「風林火山」「豊臣兄弟！」「秀吉」「峠の群像」「元禄繚乱」 「源義経」「夢千代日記」「竜馬がゆく」「利家とまつ」「天地人」 ワーグナー（フンバーディンク編：楽劇「神々のたそがれ」－「夜明けとジークフリートのライン の旅」 イヴァノヴィチ：ワルツ「ドナウ川のさざ波」 スメタナ：交響詩「モルダウ」 N響大河ドラマ&名曲コンサート（所沢） <3/7> 所沢ミューズ N響大河ドラマ&名曲コンサート（大宮） <3/6>と同プログラム N響大河ドラマ&名曲コンサート（松本） <3/8> キッセイ文化ホール N響大河ドラマ&名曲コンサート（大宮） <3/7>と同プログラム いわき公演 <3/15> いわきアリオス 指揮：沖澤のどか、S：松井亜希、Ms：小泉詠子、T：清水徹太郎、Br：加来徹 合唱：いわき市民レクイエム合唱団 モーツァルト：アダージョとフーガ ハ短調 K. 546 プロコフィエフ：交響曲第1番 ニ長調作品25 「古典」 モーツァルト：レクイエム ニ短調 K. 626

	東京・春・音楽祭 <3/25> 東京文化会館 指揮：マレク・ヤノフスキ、ヴァルデマール王 (T)：デーヴィッド・バット・フィリップ トーヴェ (S)：カミラ・ニールンド、農夫 (Br)：ミヒャエル・クプファー・ラデツキー 山鳩 (Ms)：オッカ・フォン・デア・ダメラウ、道化師クラウス (T)：トーマス・エベンシュタイン 語り手 (Bar)：アドリアン・エレート、合唱：東京オペラシンガーズ シェーンベルク： グレの歌
--	---

◆海外公演

5月	アントワープ(エリーザベト王妃ホール)〈5/9・プログラムC〉 アムステルダム(コンセルトヘボウ 大ホール)〈5/11・プログラムA、12・プログラムB〉 ウィーン(ウィーン・コンツェルトハウス 大ホール)〈5/14・プログラムC〉 プラハ(ルドルフィヌム ドヴォルザーク・ホール)〈5/15・プログラムD〉 ドレスデン(聖母教会)〈5/17・プログラムD〉、(文化宮殿 コンサートホール) 〈18・プログラムE〉 インスブルック(コンGRES・インスブルック チロル・ホール)〈5/20・プログラムD〉 〈プログラムA〉 指揮：ファビオ・ルイージ メゾ・ソプラノ：オレシア・ペトロヴァ 女声合唱：オランダ放送合唱団、児童合唱：オランダ児童合唱団 マーラー：交響曲 第3番 ニ短調 〈プログラムB〉 指揮：ファビオ・ルイージ バリトン：マティアス・ゲルネ*、ソプラノ：イン・ファン** マーラー：こどもの不思議な角笛―「トランペットが美しく鳴り響くところ」*「浮世の生活」*「原光」*「死んだ鼓手」*「少年鼓手」* マーラー：交響曲 第4番 ト長調** 〈プログラムC〉 指揮：ファビオ・ルイージ ピアノ：ルドルフ・ブフビンダー、ソプラノ：イン・ファン* グリーグ：ピアノ協奏曲 イ短調 作品16 マーラー：交響曲 第4番 ト長調* 〈プログラムD〉 指揮：ファビオ・ルイージ ヴァイオリン：諏訪内晶子 武満 徹：3つの映画音楽 ベルク：ヴァイオリン協奏曲 ブラームス：交響曲 第4番 ホ短調 作品98 〈プログラムE〉 指揮：ファビオ・ルイージ チェロ：ヤン・フォーグラ、ソプラノ：イン・ファン* ハイドン／チェロ協奏曲 第1番 ハ長調 Hob. VIIb-1 マーラー／交響曲 第4番 ト長調*
----	---